

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題】

1

古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の **ア** **イ** に入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

三度目の正直

（意味）

一度や二度で思い通りにならなくても、三度目

（使い方の例）

ア

「一度目や二度目はあてにならないが、三度目では確実である」、「物事は三度目には期待通りになる」という意味です。この意味に合う例文を選びましよう。

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

3

3 一本めと二本めのシュートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

レベル6

もちはもち屋

（意味）

何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

（使い方の例）

イ

1 もちはもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあった方がよい。

2 もちはもち屋と言うように、卓球の審判なら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

3 もちはもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

「物事は、それぞれの専門家が一番である」、「物事にはそれぞれの専門家がある」という意味です。この意味に合う例文を選びましよう。

2

レベル6



復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

模範解答

【司会の役割や話し手の意図を捉える問題】

かおりさんのクラスでは、「自分たちが住む町について調べよう」というテーマで新聞作りをしています。かおりさんの班は、町の特産品であるいちごについて、いちご農家の方にインタビューすることになりました。かおりさんたちはどんなことをインタビューすればよいか話し合いをしています。【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

かおり	いちご農家の方にどんなことを聞きたいですか。
ゆうき	ぼくは作っているいちごの種類を教えてください。
ひろこ	わたしはどのくらいの量を作っているのか知りたいです。
さやか	わたしもいちごの種類や量について気になります。でも、せっかく農家の方にインタビューするのだから、作っている人にしか分からないことを質問したらどうですか。
りょうかおり	そうですね。ぼくは、 農家の方ならではの喜びや苦勞が聞けるかもしれませんね。他に何か聞きたいことはありませんか。 (話し合いは続く)

(1) ー線部のさやかさんの発言は、どのような発言でしょうか。次の1から4の中から最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル8

- 1 出された意見を内容によって整理して、分かりやすくしたものを
- 2 出された意見に反対して、自分の意見を通そうとしたものを
- 3 出された意見をまとめて、話し合いを終わらそうとしたものを
- 4 出された意見をみとめながら、他の視点で聞きたいことはないか考えさせようとしたもの

4

前の人の発言や次の人の発言と関連させて、どんなことを質問したのかを考えましょう。

(2) りょうさんはどのような発言をしたのでしょうか。話し合いの様子から考えて、次の1〜4の中から最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル7

- 1 いちごを作っていて楽しいことや、反対に大変なことを聞きたいです。
- 2 どうしたらおいしいいちごが作れるのかを聞きたいです。
- 3 ほかの町で作っているいちごなどどこかちがうのかを聞きたいです。
- 4 何人でいちご作りをしているのかを聞きたいです。

1

復習シート 第五学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【R2】復習シート 小学校5年 国語（書くこと）

1 自身の考えを相手に伝えるための工夫に関する問題

次のこう成メモは、「夏休みに遊びに行くなら、海と山のどちらがいいか」について自分の考えを書いて伝えるためのものです。こう成メモを見て、に当てはまる言葉を考えて書きましよう。**レベル7**

（こう成メモ）	
始め	自分の考え 夏休みに遊びに行くなら、海がいい。
中①	理由 海は、 <input type="text"/> から。 海に入って泳いだり、遊んだりする。
中②	理由 波をながめていると落ち着くから。 太陽の光と波を同時に見ているとゆったりした気分になる。
事例	やはり、夏こそ海に行って遊びたい。
自分の考え	
終わり	

海は、

夏の方が楽しめることが多い／夏に活動できることがたくさんある 等

から。

◎自分の考えを相手に伝えるために、理由と事例を中の部分に書いて分かりやすくする工夫をします。
◎事例の内容に正対したことが書かれていれば正解とします。

【構成に関する問題】

2 夏休みに遊びに行くなら、海と山のどちらがよいか文章で伝え合うことになりました。

伝える内容について、次の〈注意〉をよく読んで書きましよう。**レベル8**

- 〈注意〉
- 二だん落で、五行以上、七行以内で書くこと。
 - 一だん落目には、あなたなら、夏休みに遊びに行くなら、海と山のどちらがよいかを書くこと。
 - 二だん落目には、そこで何がしたいかや何ができるかにふれながら、その理由を書くこと。
 - 原こう用紙の使い方に気を付けて書くこと。

解答例

ぼくは、夏休みに遊びに行くなら山の方がいいです。
山では、川で水遊びをしたり、虫取りをしたりすることができまます。また、暑い日でも木かげは涼しく、風が気持ちいいので山の方がいいです。

わたしは、夏に遊びに行くなら海がいいです。
私は、この前の夏休みに家族で海に行き、初めて海で泳ぎました。浮き輪でぶかぶか浮いて波にゆられるのは、とても気持ちよかったです。

私は、夏に遊びに行くなら、海の方がいいです。
なぜなら、夏は海はきらきらしていて、海にもぐってそれを見るのが好きだからです。また、シュノーケリングで海の生き物を見てみたいからです。

- ◎〈注意〉に書いてある通りにかけているか、一つ一つたしかめてましよう。
- ◎ふだんから、自分の考えの理由を伝えるときには、自分が体験したことや見聞きしたことをもとに、具体的に伝えるようにましよう。そうすると、相手に理由が分かりやすく伝わりまます。

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【必要な情報を見付けて読む問題】
 新聞委員の山田さんと川上さんは、「ごみゼロの日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「ごみゼロの日」はどんな日？

- わたしたちは、毎日のくらしの中でたくさんのごみを出しています。たくさんのごみをどのようにして処理するのか。これは、昔から大きな課題でした。
- 一九七十年代に、ある市で、ごみをゼロにする運動「530運動」が始まり、しだいに全国に広まりました。この「530運動」と「ごみ(5)み(3)ゼロ(0)の語呂が合うという理由から、五月三十日が「ごみゼロの日」となったそうです。
- 「ごみゼロの日」は、ごみをへらしてリサイクルをおし進める日として、多くの団体や企業で、ごみゼロの日の活動が行われるようになりました。
- これらの取組は、国でも注目されるようになり、一九九三年には「ごみ減量化推進週間」が正式に定められました。現在は、五月三十日から六月五日が「ごみ減量・リサイクル推進週間」とされています。
- このように「ごみゼロの日」は、ごみの問題を何とかしたいという人々の活動から生まれた日だということができます。

「五月三十日になった理由」が書かれている部分を見つけましょう。

（問い）
 一 山田さんは、「なぜ五月三十日が『ごみゼロの日』なのか」についてまとめています。山田さんは、【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

「ごみゼロの日」は〇〇をする日、と考えながら読みましよう。文字数にヒントがあるの、十九字になっているかどうか、必ずかくにんをしましよう。

2

埼玉県学力・学習状況調査

二 川上さんは、「『ごみゼロの日』は、どのようなことをする日なのか」についてまとめています。【資料】の中からその説明がされている部分を十九字で探し、はじめと終わりの五文字を書きぬきましよう。

レベル5

ご	み	を	へ	ら	し	進	め	る	日
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---